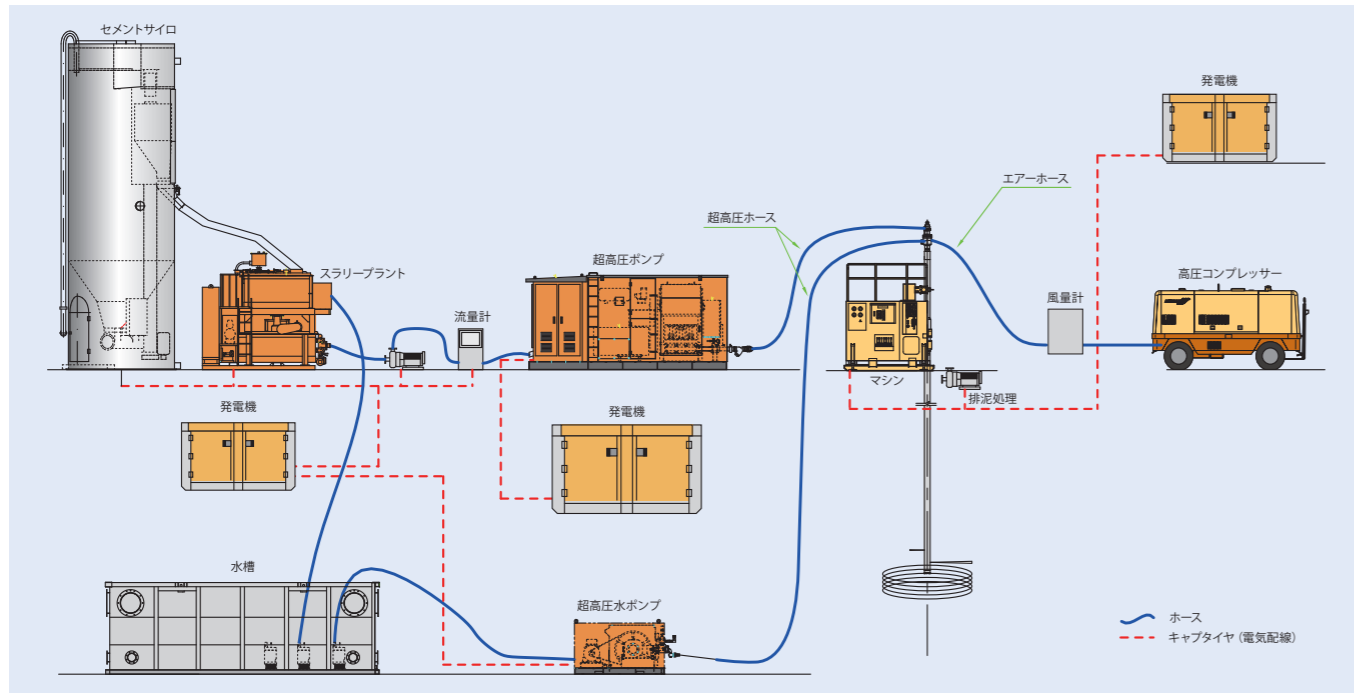
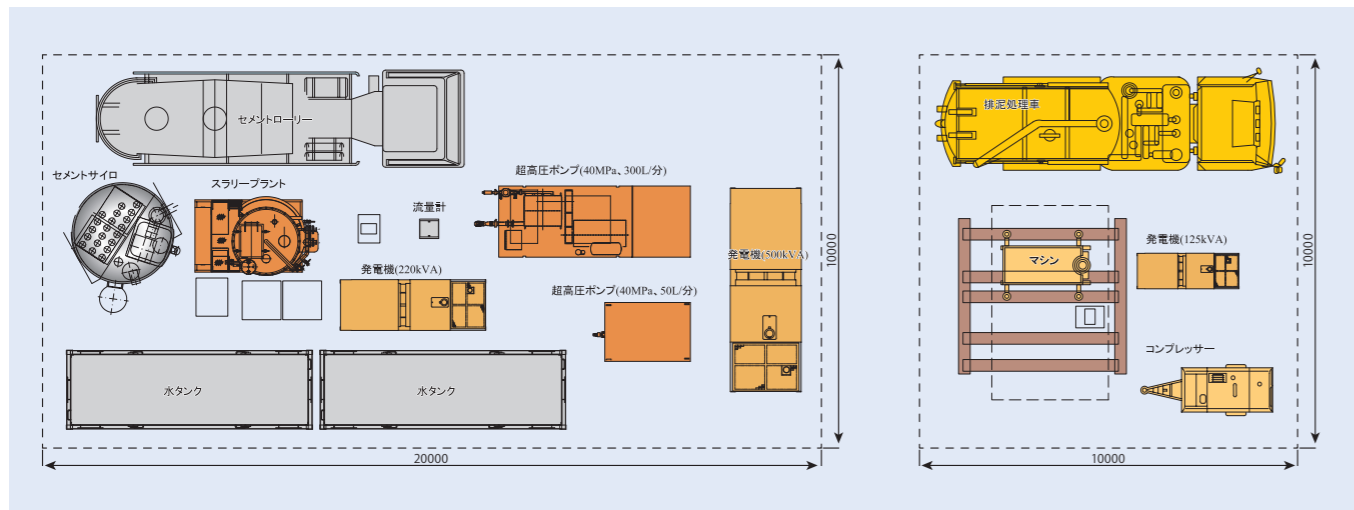


● 施工システム



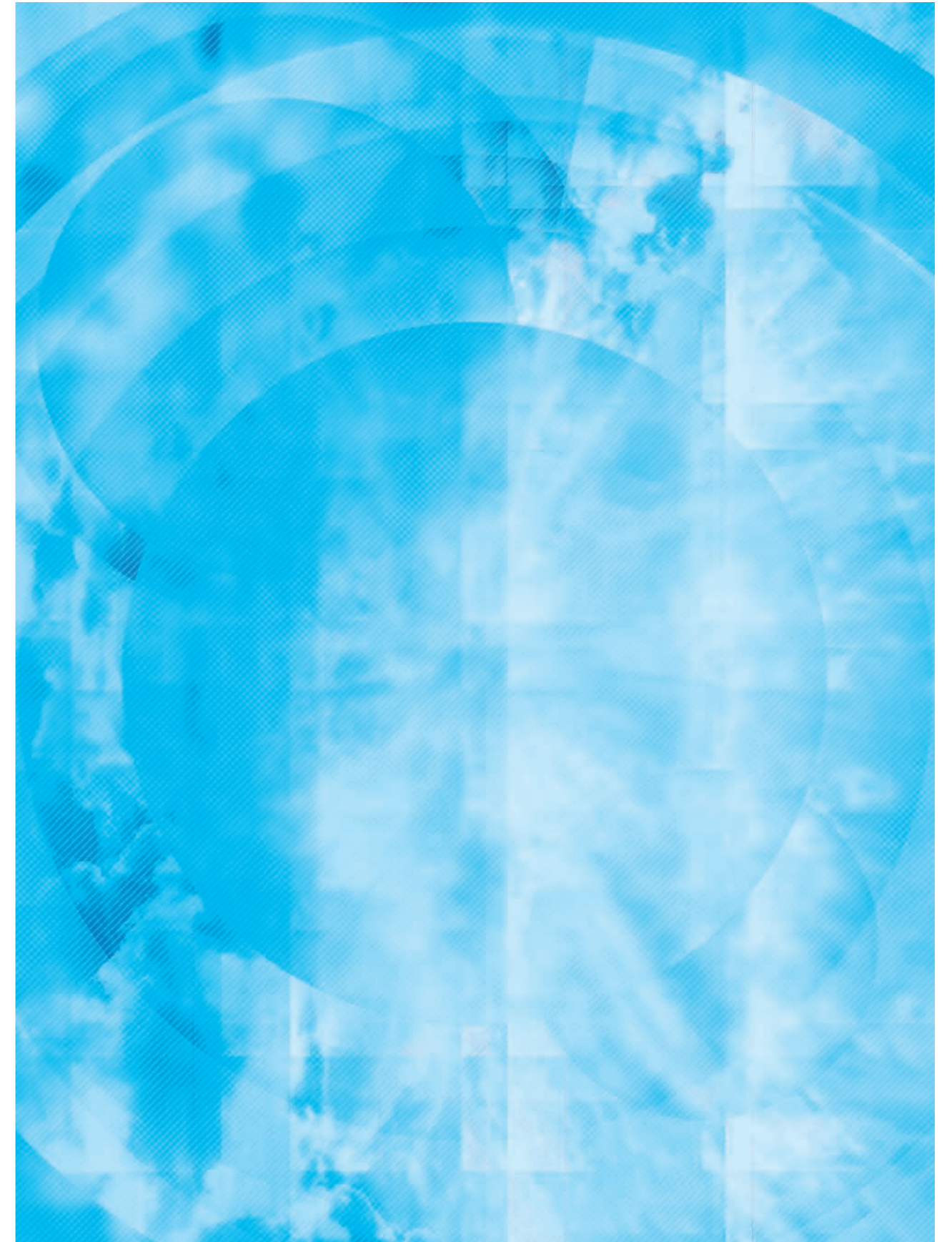
● 平面図



JEP-G工法

特殊JEP工法研究会

三重管式大口径高压喷射搅拌工法



特殊JEP工法研究会

【事務局】

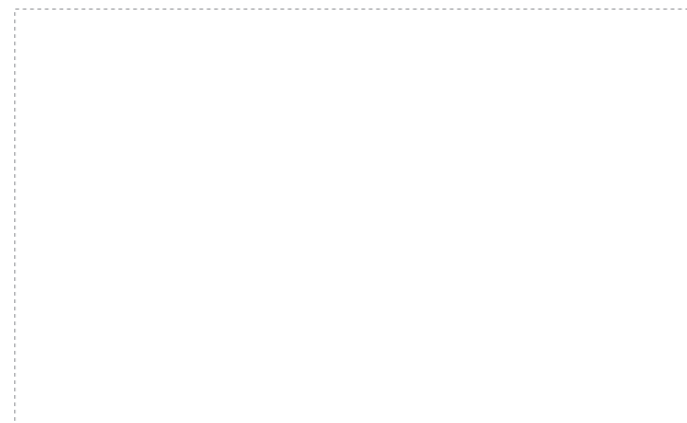


ISO 9001
ISO 14001
OHSAS 18001
認定取得 施工技術本部

〒102-8236 東京都千代田区九段北4-2-35
TEL.03-3265-2456 FAX.03-3288-0896

URL www.raito.co.jp
e-mail gijyutsu@raito.co.jp

お問い合わせは下記へお申し付け下さい。



発行 2019年3月
720314_500_TB

大口徑で経済的・高品質な改良体
 様々な施工条件に適応する高圧噴射攪拌工法

JEP-G工法

● 特長

1 大口徑の改良体

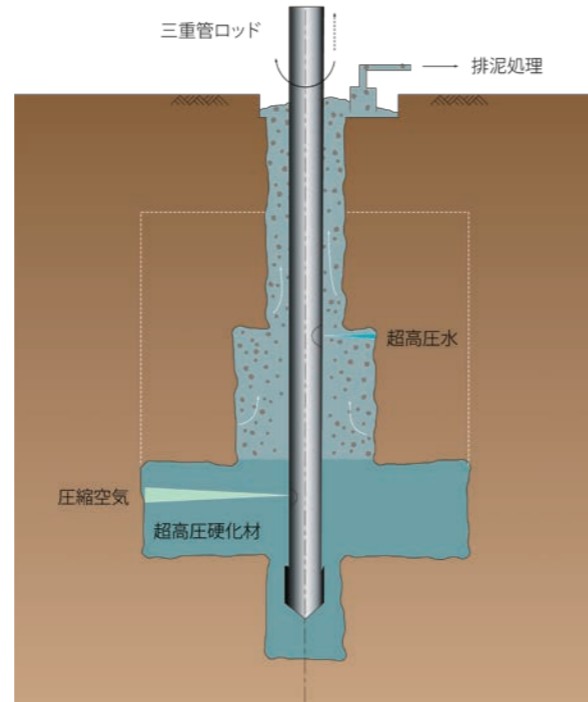
専用の噴射装置および大容量の硬化材噴射 (300L/分) により、大口徑の改良体が造成可能です。(最大φ5.5m)

2 低コスト・工期縮減

大口徑の改良体が造成可能であるため、施工本数が縮減し、コストおよび工期の縮減が可能となります。

3 変位影響の低減

三重管システム (三重管ロッドを用いて硬化材・水・エアを独立して噴射) の適用により、施工時の変位影響を低減することが可能です。



JEP-G工法改良模式図

● 噴射仕様

名称	使用材	標準施工仕様	
		吐出圧力	吐出量
上段 超高压ジェット	水	吐出圧力	40MPa
		吐出量	50 l/分
下段 超高压ジェット	硬化材	吐出圧力	40MPa
		吐出量	300 l/分
压缩空气		吐出圧力	0.7~1.05MPa
		吐出量	4~15m³/分



● 適用条件

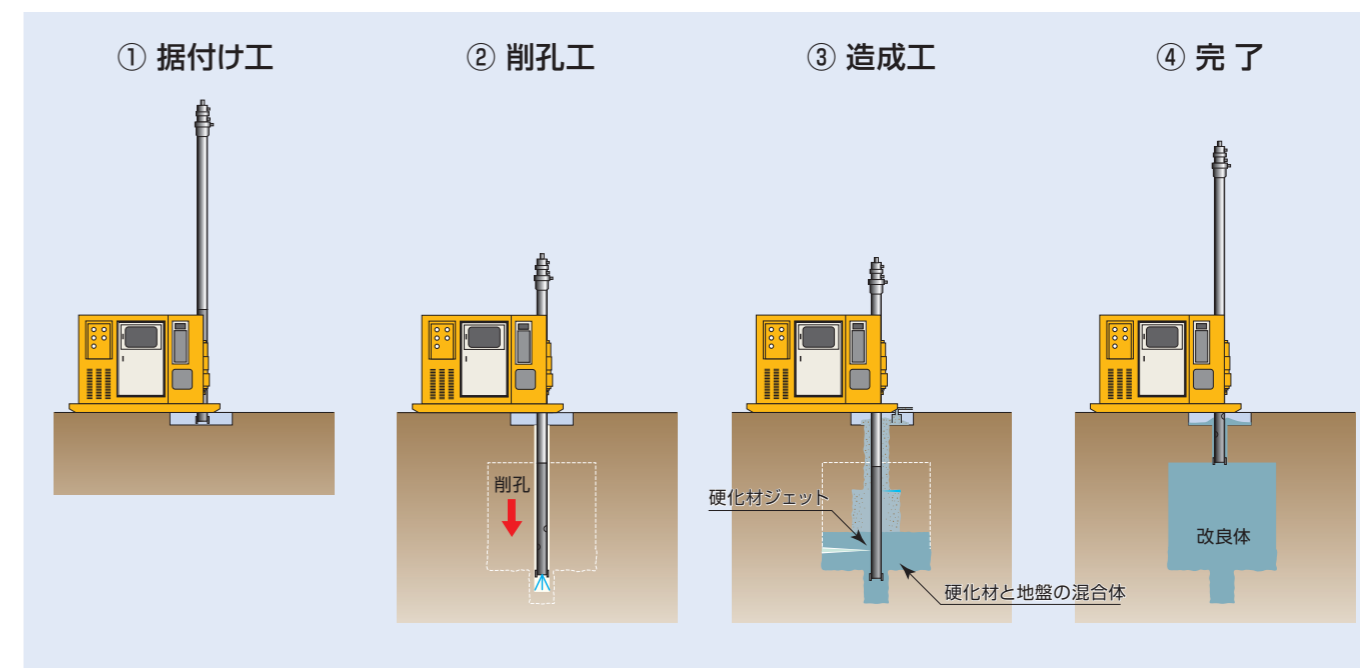
適用土質と標準設計有効径

引上げ時間	土質	設計N値及び設計粘着力c		
	砂質土	0 < N ≤ 30	30 < N ≤ 50	50 < N ≤ 100
	粘性土	0 < c ≤ 20	20 < c ≤ 35	35 < c ≤ 50
13分/m		4.0m	3.7m	3.3m
16分/m		4.5m	4.0m	3.6m
20分/m		5.0m	4.5m	4.0m
25分/m		5.5m	5.0m	4.5m

注1) 砂質土 N ≤ 200、粘性土 c ≤ 100kN/m² に対する仕様設定も可能です。

注2) 施工深度は 30m 以下を標準としています。

● 施工順序



● 改良体の設計標準数値

硬化材	土質	設計強度 qu (MN/m²)	粘着力 c (MN/m²)	付着力 f (MN/m²)	曲げ引張強さ σ _t (MN/m²)	変形係数 E ₅₀ (MN/m²)
JEP-G硬化材 (標準用)	砂質土	3.0	0.5	$\frac{1}{3} \times c$	$\frac{2}{3} \times c$	100 × qu
	粘性土	1.0	0.3			
JEP-G硬化材 (中強度)	砂質土	2.0	0.4			
	粘性土	0.75	0.25			
JEP-G硬化材 (低強度)	砂質土	1.5	0.3			
	粘性土	0.5	0.15			

● 標準配合

区分	JEP-G硬化材 (標準用)	JEP-G硬化材 (中強度)	JEP-G硬化材 (低強度)
固化材	760 kg	650 kg	550 kg
混和材	10 kg	10 kg	10 kg
水	751 kg	785 kg	816 kg

※ 固化材の比重値により、水量が変化する場合があります。

